

法 学 第 510 号

平成 29 年 9 月 21 日

各 私 立 学 校 長 様

(小・中・高・特)

岩手県総務部法務学事課私学・情報公開課長

平成 29 年度カリキュラム・マネジメント指導者養成研修の実施について

このことについて、別添のとおり通知がありましたので、お知らせします。

なお、参加希望がある場合は、別紙「推薦名簿」に必要事項を記入の上、平成 29 年 10 月 16 日（月）までに当課宛て提出願います。

また、期限までに提出がない場合は、希望なしとして取り扱うことを申し添えます。

【担当】私学振興担当 半田

電話 019-629-5041 FAX019-629-5049

メールアドレス: AH0007@pref.iwate.jp

独教事研第108号

平成29年9月11日

各 都 道 府 県 知 事
殿
附属学校を置く各国立大学法人の長

独立行政法人教職員支援機構

理事長 高岡 信也

(印影印刷)

平成29年度カリキュラム・マネジメント指導者養成研修の実施について（依頼）

日頃より、独立行政法人教職員支援機構の研修事業に御協力いただき、誠にありがとうございます。

標記の研修について、別添の実施要項に基づき実施いたします。

ついては、受講者の推薦がある場合は、別添の実施要項中「6 受講者（3）推薦手続」によらず、別紙「推薦名簿」を平成29年10月23日（月）までに、電子メールで事業部研修事業課宛てに御提出願います。実施要項、推薦名簿等は、当機構ホームページ（<http://www.nits.go.jp/>）からダウンロード可能です。

また、本研修は、各地域において、本研修内容を踏まえた研修の講師等としての活動や、各学校への指導・助言等が受講者により行われることを目的としております。貴職におかれましては、本研修の目的を御理解の上、適切な方を御推薦いただくとともに、受講者の成果活用に御配慮いただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、受講者には、研修終了1年後に成果活用状況について調査することとしております。



問合せ先

独立行政法人教職員支援機構

事業部 研修事業課

研修プロデュース室（岡村、小林）

〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地

TEL:029-879-7004, 6642 FAX:029-879-6645

E-mail: curriculum@ml.nits.go.jp

**平成29年度 カリキュラム・マネジメント指導者養成研修
実施要項**

1 目的

学校は、地域や学校の実態等に即し、学校の資源、特色を生かした適切な教育課程を編成し、実施する必要がある。

新学習指導要領においても、「カリキュラム・マネジメント」の重要性が特に示されている。

本研修では、この新学習指導要領に基づいて、学校において、校長のリーダーシップの下、組織的、計画的に「カリキュラム・マネジメント」を展開するための手立て、カリキュラムの自己点検・評価に関する手法等、「カリキュラム・マネジメント」を円滑に行うために必要となる知識等を習得し、各学校や地域における本研修の内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者の養成を図る。

2 主催 独立行政法人教職員支援機構

3 共催 文部科学省

4 期間 平成29年12月11日（月）～12月15日（金）

5 会場 独立行政法人教職員支援機構 つくば本部
〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地

6 受講者

(1) 受講資格

- ①都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者
 - ②小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び教諭であって、各学校や地域における本研修の内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者として活動を行う者
 - ③当機構の修了証書をもって単位認定を行う（予定を含む）教職大学院の学生
- ※なお、女性教職員の更なる活躍が期待されていることから、当機構としては、女性教職員の受講者の一層の増加を目指している。

(2) 推薦人数

各都道府県（中核市分を含む。）においては3名以上、各指定都市においては2名以上とする。

(3) 推薦手続

各都道府県・指定都市教育委員会において推薦者を取りまとめ、「研修情報登録

システム」により、平成29年10月23日(月)までに推薦を行う。なお、各都道府県知事部局及び学校組合教育委員会、教職大学院を設置する各国立大学法人、教職大学院を設置する各私立大学については、推薦人数の上限を設けない。

※受講者推薦の際には、「演習」の所属部会について第四希望までを登録すること。部会は次の4部会とする。

【A：言語活動部会】 【B：環境に関する教育部会】

【C：主権者に関する教育部会】 【D：食に関する教育部会】

※所属部会は、各部会への参加希望を勘案し、当機構で調整した上で、受講者決定通知の際に連絡する。

(4) 受講者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会からの推薦に基づき、当機構が決定し通知する。なお、受講者は原則として推薦のあったとおり決定するが、推薦状況によっては当機構において調整を行う場合がある。

7 研修内容

別紙「日程表」のとおりとする。演習や協議については、20名の単位(ユニット)を基本として取り組む。

8 事前課題等について

(1) 事前課題

様式・提出方法等については、受講者決定時に連絡する。

(2) 持参資料等

受講者決定時に連絡する。

9 その他

(1) 所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。

(2) 本研修終了後、受講者アンケート等を行う。また研修終了から一定期間(約1年)経過後に、研修成果の活用について、受講者に対するアンケート調査を行う。

(3) 本研修は、原則として宿泊研修とし、独立行政法人教職員支援機構の宿泊施設を利用するものとする。宿泊の手続き方法等については、受講者決定の際に通知する。

平成29年度 カリキュラム・マネジメント指導者養成研修 日程表

12月11日(月)

10:00		10:30	11:10	12:00	13:00	15:00	15:15	17:00
第1日	受付	オリエンテーション 開講式 デモンストラ ション	講義1 教育課程を軸に学校教育の改善・充実の好循環を生み出す「カリキュラム・マネジメント」 文部科学省 教育課程課 ◎目的:「カリキュラム・マネジメント」の意義とその必要性、また実践するうえでの現状と課題について理解する	屋敷・休憩	講義・演習 「カリキュラム・マネジメント」の新たな展開—新学習指導要領の告示に関わって— 千葉大学 特任教授 天笠 茂	休憩		
						◎目的:「カリキュラム・マネジメント」とは何か、学校組織におけるその役割と方法について具体的な理解を深める。また、各地域の取組を知るとともに、課題を共有する		

12月12日(火)

8:30		10:00	10:45	11:45	12:45	14:15	14:30	17:00
事例発表・協議・指導助言		学校の特徴を生かした「カリキュラム・マネジメント」の実践と課題						
小学校 事例発表: 甲南女子大学 教授 村川 雅弘 奈良教育大学 准教授 赤沢 早人		中学校 事例発表: 岐阜大学 准教授 田村 知子 奈良教育大学 准教授 赤沢 早人		屋敷・休憩		高等学校 事例発表: 甲南女子大学 教授 村川 雅弘 岐阜大学 准教授 田村 知子 岐阜大学 准教授 田村 知子		講義2 「カリキュラム・マネジメント」による評価と改善 甲南女子大学 教授 村川 雅弘 岐阜大学 准教授 田村 知子 筑波大学 准教授 根津 朋実
第2日		◎目的:先任事例をとおして、学校の特徴・特色を生かしたカリキュラムの編成とその適切な組織・マネジメントによる学校改善の手法等について学ぶとともに、協議をもつ ◎目的:学校づくりを生かすカリキュラム評価の考え方・進め方について学ぶ						

12月13日(水)

8:30		10:30	10:45	11:30	12:30	14:25	14:40	15:45	15:55	17:00
第3日	講義3 「カリキュラム・マネジメント」を促進するための研修の 甲南女子大学 教授 村川 雅弘	休憩	演習1 協議 「カリキュラム・マネジメント」の実践 A【言語活動】奈良教育大学 准教授 赤沢 早人 B【連携】に関する教育 岐阜大学 准教授 田村 知子 C【主権者に関する教育】(独)教職員支援機構 上席フェロー 大杉 昭英 D【食】に関する教育 甲南女子大学 教授 村川 雅弘	屋敷・休憩	発表準備 (引き継ぎ演習)	休憩	部会別発表 (引き継ぎ演習1)	移動	全体発表 (引き継ぎ演習1)	◎目的:各学校において組織的に「カリキュラム・マネジメント」を実践するための知識・理解を得るための研修手法及びその効果についての知識・理解を得る

12月14日(木)

9:00		10:30	10:45	12:15	13:15	15:30	15:45	17:00
第4日	講義4 学校ビジョンと戦略 滋賀大学 教授 大野 裕己	休憩	講義5 校長のリーダーシップと学校組織 愛媛大学 教授 露口 健司	屋敷・休憩	演習2-1 「カリキュラム・マネジメント」を推進するための研修プランの作成 (独)教職員支援機構 チーフ・研修プロデューサー 堀田 竜次 (独)教職員支援機構 研修特別研究員 岡村 美由規 (独)教職員支援機構 研修特別研究員 神林 新幸	休憩	◎目的:組織的に「カリキュラム・マネジメント」を推進するための研修の在り方について、具体的なプラン作成をとおして理解を深める	

12月15日(金)

9:00		10:15	10:30	12:00	12:15
第5日	演習2-2 「カリキュラム・マネジメント」を推進するための研修プランの作成—全体発表— (独)教職員支援機構 チーフ・研修プロデューサー 堀田 竜次	休憩	講義6 「カリキュラム・マネジメント」と組織化 千葉大学 特任教授 天笠 茂	閉講式	◎本研修を振り返るとともに、「カリキュラム・マネジメント」の組織的な取組の在り方について、発表をとおして理解を深める

平成29年度カリキュラム・マネジメント指導者養成研修受講者推薦名簿

(教育委員会・学校等名)

推薦 原単位	氏名	フリガナ	年齢 (※1)	性別	所 属				所 属 機 関 種 別	希 望 部 会 (※4)				電 話 番 号	備 考	
					名 称	職 名 1 (※2)	職 名 2 (※3)	郵 便 番 号		住 所	第 一	第 二	第 三			第 四
1																
2																
3																
4																
記入例	〇〇 〇〇	フリガナ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	〇〇市〇〇 〇-〇〇-〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇	主任指導主事	教育委員会	D	B	C	A	0000-00-0000	
記入例	〇〇 〇〇	フリガナ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	〇〇市〇〇 〇-〇〇-〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇	主幹教諭	中学校	A	C	D	B	0000-0-0000	

※1) 年齢は平成30年3月31日現在で記入してください。
※2) 「教諭」「指導主事」「校長」「教頭」のいずれかを記入してください。いずれにも該当がない場合は「その他」としてください。また、※3も参照してください。
※3) 職名2には(例)「主幹教諭」、「主任指導主事」、「副校長」、「研修主事」、「学生」等を記入してください。
※4) 第3日目「演習1」の希望部会をアルファベットA～Dで記入してください。(A:言語活動、B:環境に関する教育、C:主権者に関する教育、D:食に関する教育)

【担当者】

氏名			
所 属			
所 属 先 住 所	〒		
電 話 番 号		E-mail	

この推薦名簿様式は、研修情報登録システムとは連動しておりませんので、「登録に必要な情報を確認する」、「都道府県・政令市教委の担当者への提出用」等の用途でご活用ください。

都道府県・政令市教委の御担当者様におかれましては、域内の推薦者をおとりまとめの上、研修情報登録システムから推薦者のご登録処理をお願いいたします。